

# フォント指定とブラウザ判別

Wordpressに限らずWebサイトを作るのにフォントをどう指定するかが悩みどころだ。

Apple系（Mac・iPhone・iPad）は、迷うことなく「ヒラギノ角ゴ」で決まり。なぜならiPhoneの日本語フォントがこれだからだ。

問題はWindowsで、最も期待できるのが「メイリオ・Meiryo」なのだが、これは視認性優先のデザインなのかあまり美しくなく、ボールドの太さとのバランスが悪い。「游ゴシック・YuGothic」は、細すぎてかすれてしまう・MSゴシックは論外だ。

じゃあMacから「ヒラギノ角ゴ」をWindowsに持ってきてしまえば・・・というアイデアもあるがWindowsで見る「ヒラギノ角ゴ」は汚くなってしまふのだ。理由はよく分からないのだが、フォントのレンダリング技術の違いだろうか。最近の製品はWindowsでもきれいに見えるようだが・・・。そもそも、自分のPCにだけフォントが入っていても、解決にはならないし。

そこでWebフォントを使うという手がある。

## TypeSquareでヒラギノ角ゴ

<https://typesquare.com/> でユーザー登録し、サイトも登録し、フォントには「ヒラギノ角ゴ W3 JIS2004」を選ぶ。

ヘッダのLuxeritasならadd-header.phpに

```
<script type="text/javascript"
src="//typesquare.com/3/tsst/script/ja/typesquare.js?H0GEH0GEH0GE"
charset="utf-8"></script>
```

style.cssのbodyのfont-familyに、

```
"Hiragino Kaku Gothic W3 JIS2004"
```

これでWindowsでも、最近のきれいな「ヒラギノ角ゴ」を使うことができた。

しかしTypeSquareの無料のプランでは、一つのフォント、一つのサイトしか使えない。ウェイトも一つしか指定できないので、ボールドが際立ってくれないし、ローカルで編集してデプロイさせるのにも使えない。

そこでGoogle Fontsを使うことにする。

## Google Fonts

<https://fonts.google.com/> で、英文字はRoboto・日本語はNoto Sans JPを指定し、さらにRobotoにイタリックとボールドを、加えてギリシャ文字を使いたい・・・。

CSSに、こんな感じの指定をする

```
@import
url(https://fonts.googleapis.com/css?family=Noto+Sans+JP|Roboto:400,400i,700&
display=swap&subset=greek,japanese);
```

```
body {
  font-family: Roboto, 'Noto Sans JP', sans-serif;
}
```

これでWindowsでも、しっかりとしたフォントで表示できるようになった。だが、一つ欠点がありApple系でもGoogle Fontsを使うことになってしまう。

自分はWindows+Androidなので、気にしていなかったのだが、アクセスの一番多いのはiPhoneで、しかも細かい回線を使っている人もいるので、その人たちにとってはGoogle Fontsが使われるのは迷惑でしかないのだ。なぜなら「Noto Sans」と「ヒラギノ角ゴ」の間には表示品質の差はそんなにならぬからだ（Apple製品で見た場合の話）。

そこで、各ブラウザごとにフォント指定をしてChromeとFirefoxの場合にはGoogle Fonts、Safariの場合には「ヒラギノ角ゴ」にしたい。その選別がなかなか面倒だったのだ。

## Chrome/Firefox

一番役に立ったサイト、

**CSS3 Media Query to target only Internet Explorer (from IE6 to IE11+), Firefox, Chrome, Safari and/or Edge**

<https://www.ryadel.com/en/css3-media-query-target-only-ie-ie6-ie11-firefox-chrome-safari-edge/>

From:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/> - らぎめも

Permanent link:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/wordpress/font?rev=1575622481>

Last update: **2019/12/06**

